



クラブ 会報

CLUB BULLETIN (WEEKLY)

鶴岡ロータリークラブ

TSURUOKA ROTARY CLUB

D-253

創立 1934.6.9
承認 1934.6.27

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール
例会日 毎週火曜日 12:30-13:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 (2) 5775

会長 小松 広穂
幹事 皆川 英二
会報委員 上野 三郎
 高橋 耕二
 内板 喜一
 山垣 俊次

No., **1018** 1979. 7. 31 (火) (晴) No.,5

ウイシター紹介

伊東 太一君 貸倉庫 上ノ山R.C.
齋藤 吉雄君 陶管設備 加藤 広君 電気工事
菅原 松雄君 建築設計 林 権之助君 電気器具販売 } 鶴岡西R.C.
三浦 正志君 自動車車検

会長・幹事報告

小松 広穂 君

佐原ガバナーより当クラブ公式訪問についての礼状と併せて次のような所感が寄せられましたのでご報告いたします。

「本年、創立20周年記念式典並びに記念事業も完成し、会員一致協力してI.C.R.A.Cの育成指導、交換学生の管理指導、姉妹クラブとの交流、財団に対する

LET SERVICE LIGHT THE WAY

奉仕の灯で 道を照らそう

寄附金の増額、米山奨学会に対する寄附金の増額、特に奇数月の第三例会日を財団協力日とし、偶数月の第三例会日を米山奨学会協力日としてこの活動を推進し、又小学校4、5、6年生の宿泊訓練、青少年指導者懇談会等によるロータリーの広報等、常に地区内にあっても活発で有数の奉仕を實踐して居られる姿に敬意を表する次第であります。

会員の増強、出席率の向上についても努力を傾けて居られる様子であります、多数会員のクラブは稍もすれば出席率の低下を来すおそれもありますので努力願いたいと存じます。]

皆川英二君

1. 例会日時変更の御知らせ
 - 酒田東R.C 8月9日の例会を酒田R.C 合同例会のため8月8日(水) 12:30 於 酒田産業会館 3階第一会議室
2. 台中港区1978~79の会報到着
3. R.I 第253地区年次大会(於喜多方) 御案内 会員多数の御参加乞う。仮申込締切8月20日
4. 鶴岡まつりポスター配布のお願い
5. ユネスコ協会創立30周年のため 会費 2,000円(増額)未納の方宜敷く御願ひ
6. 東京一城東R.C バナー(張君マーク持参)

◆ 会員スピーチ最近の石油情况について

中野清吾君

第二石油危機といわれている昨今ですが原油価格は常識の線をはるかに越す大巾な値上げになっておりますと同時に、原油の需給関係はまことに不透明を増しております。

一時、スポット物は30ドル/パーレルから40ドルの高価格にもなりました。(最近30ドルを割ってるといわれているが)消費国の我国では原油確保に全力投球することは勿論ですが、自衛手段として備蓄の積み増し、エネルギーの多様化、そして節約5%の大キャンペーン等の展開は当然の政策と思います。

第一次石油危機(昭和48年10月)はオペック原油値上げが4倍になったことと、25%カットにあったことであり、石油に依存していた先進各国はまことに混乱状態に入ったのですが、この度の石油危機は

1. 原油の値上げが4回に亘って実施されることの決議に既に3回実施(40%アップになっている)
現在 サウジ 18.25ドル
其の他の国 22.50ドル
高 値 23.50ドル
スポット買 33.50ドル位
2. イラン革命により輸入原油の手配が非常に困難になった。
3. 各国が原油輸入が困難になったことによって商社の活動が出来なくなった。(業転物が入りにくくなった)従って国内需要は国内精製による石油供給

に依存することとなった。

4. 石油不足の過去の経験から相当の仮需要が出たこと。
5. 電力事情の悪化から石油の需要が大きく伸びている。

(原子力発電操業停止、水力ダム建設が思うように進まない。)

私達は原油の精製に於て簡単に申し上げますとガソリン、灯油、軽油、重油の順に出て来ます。この灯油、軽油、重油を中間3品という。

最近中間3品の不足がやかましくいわれている。その原因について申し上げますと

1. 灯油について

- ① 暖房機の大型化に伴う大口消費昔は一家団欒は家庭内の常であったが、最近では各自各部屋でしかも暖房機をもって過している。
- ② 毎年石油業界は冬季暖房用灯油を4月初め頃から備蓄したが、今年の春は5月中寒さの為に灯油の備蓄の機会もなくむしろ消費していた。
- ③ 通産省より石油会社に対し9月末迄灯油645万キロリットルの備蓄命令が出たので、必死になって備蓄体制に入った。(それで石油会社は灯油出荷制限をしている。)
- ④ 冬季に入って1億国民が風邪を引かない様にと25%~50%位のカットをしている。

2. 軽油について

最近の自動車産業の好景気はみるべきものがあります。鶴岡中央工業団地の企業をみても解りますが、昼夜フル操業増産体制です。

- ① 鉄道運賃の値上げによるトラック輸送の利用増。
- ② 小型トラック、乗用車の軽油車需要増。
- ③ 道交法改正により重量制限がきびしい。(従来1回輸送が2回~3回)
- ④ 道路を走らなかつた土木機械が従来灯油を利用し、この灯油不足のため軽油利用に転換した。

3. 重油について

- ① どんな小さなビルでも重油暖房を利用している。灯油事情と同じように5月一杯重油を消費していた。
- ② オベックの値上と輸入削減によって従来商社が製品輸入していたものがこれが出来なくなった。

例えば

- ③ 全漁連がソ連より購入していた。
重油20%カットのため出漁出来なくなった。海の船が重油を陸に求めて来たため余計不足している。

昭和54年5月末製品在庫

53年度		54年度	
ガソリン	256万kl	245万kl	95.70%
灯油	329	287	87.23
軽油	155	151	97.41
A重	198	179	90.40

B	重	60	43	71.66
C	重	503	419	83.30
	計	1,715万kl	1,549万kl	90.32%

原油輸入実績及予想

54年1～3月 7,219万kl (実績) 54年4～6月 6,500 (実績)

54年7～9月 6,400 (予想)

上期の見通り 1億3千50万kl

上期計査 1億3千7百85万kl

積増し 550万kl

不足分 185万kl

(註) メイジャー

エクソン・シェル・モービル・テキサコ・ガルク・ソーカル・BP・C

FP 以上8社 1バーレル=159リッター

委員会報告

雑誌委員長 黒谷正夫君

ロータリーの友8月号46頁に当クラブが創立20周年記念事業として市に寄贈した“友愛の泉”のことが写真で紹介されています。又18頁にはR.Iアジア地域諮問委員会委員の一人として早坂パストガバナーが紹介されています。

R.A.C委員長 西海正一君

去る7月25日午後7時より産業会館4F和室において、R.A.C新旧役員との親睦会が開催され、小松会長、迎田君、内山君、佐藤元伸君、西海の5名が出席した。R.A.Cからは1人だけ欠席の18名が参加して、終始和かな親睦会でした。

8月のR.A.C第1例会には吉野君、三浦君の出席を、又第2例会には板垣広志君の出席をお願いいたします。

出席報告

本日の出席	会員数	71名	欠席者	秋野君、阿部(与)君、飯白君、石原君、金沢君、熨斗君、野村君、佐藤(昇)君、佐藤(友)君、佐藤(元)君、鈴木(弥)君、高橋(良)君、吉野君
	出席数	58名		
	出席率	81.69%		

前回の出席	前回出席率	83.10%	メア 1ッ クブ	笹原君—仙台R.C 石原君、風間君、中野君、野村君、佐藤(友)君、山口君—鶴岡西R.C
	修正出席数	66名		
	確定出席率	92.96%		